

(様式1・小学校用①)

令和元年度 学 校 評 価 報 告

草加市立松原小学校

(令和2年2月12日作成)

1 学校教育目標 心身ともに健康で自ら学ぶ子 ～ やさしい心・強い心・健やかな体・自ら学ぶ子 ～	
2 重点目標・努力目標 <ul style="list-style-type: none">・幼保小中を一貫した教育・基礎的、基本的な学力の定着・個を生かす指導・道徳教育の充実・健康、体力の向上・学級経営の充実・学校行事の充実・生徒指導の充実	3 前年度の成果と課題 成果 ○栄中学校区研究発表会を行い、全教職員が協力し、学力・体力・徳力の向上を目指し指導に取り組むことができた。保護者、地域と連携し、安全安心な学校環境を作ることができた。 課題 ●研修を充実させ、児童の学力を向上できる指導力の向上 ●保護者と協力し、欠食児童ゼロ、朝食内容の向上に取り組む。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none">・学校経営目標、方針・校務分掌組織・適所への適材配置・職員会議等の運営・予算の執行・決算、監査等	A	○教職員が学校力向上のため能力や経験を活かし、組織的に運営と指導がなされた。 ●円滑な公務の運営と教職員の働き方改革とのバランスを構築する。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none">・研究組織、計画、実施・校内研修の推進・授業改善への取組・校外研修会への参加・人材育成	A	○学習過程の工夫、年3回の授業研究を行い、児童一人一人の学力向上に目を向け、ICTを取り入れた学習も積極的に取り組めた。 ●学力調査の結果を踏まえ、個々の課題を踏まえ、指導力向上に努める。
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none">・保健計画、安全計画・環境衛生の管理・健康観察、安全点検・緊急事態発生時の対応・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○早寝早起き朝ごはんのテーマをもとに学校保健安全委員会を3回開催できた。保護者の参観も増加し、評価を得られた。 ●歯科治療への指導を強化し、治療率100%を徹底する。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none">・個人情報の管理、保護・施設設備の管理と有効利用	A	○校内研修の充実、情報提供により個人情報の管理について意識が向上している。安全点検を確実にを行い、早期に改善を行うことができた。 ●情報漏洩事故0を継続する。
	⑤地域との連携開かれた学校	<ul style="list-style-type: none">・学校情報の発信・学校公開の実施・学校運営協議会、学校評議員制度の活用・地域、校種間連携・PTA活動の活性化	A	○授業参観、学校公開を学校評議員、地域にも広く公開し、児童の真剣な学習態度に高い評価を得られた。PTAとも連携を深め児童の学習環境を整えることができた。 ●学校運営協議会の開催を進める。
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none">・目指す子ども像の共有・15年間を通じた教育課程の編成・一貫教育推進のための組織づくり	A	○「まなび」「こころ」「からだ」部会を中心とした研究授業を行い、関係小中学校からの参加を得、研究を深めることができた。 ●幼保小中を一貫した研究を基本に、中学校に向けた学力向上をさらに深める。

草加市立松原小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じた教育課程の編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラムに則り計画的に指導を進めることができた。各主任を中心に教材、教具を工夫し、改善に努めることができた。 ●PDCAサイクルに基づき、学校全体の課題点を改善し、指導の充実を図る。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○草加っ子の学びを支える授業の5か条の徹底を図り、自ら考え、表現力を高める学習を全教職員で取り組むことができた。 ●一人一人の課題に即した学習活動を展開する。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修、授業研究会を行い、児童の道徳的価値を高める授業を展開した。評価についても共通理解を図ることができた。 ●道徳実践力を育成する指導方法を展開する。
	④外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTと連携した授業を中学年、低学年においても行い、外国語活動への意欲向上を図ることができた。 ●さらなる教員の指導力の向上を図る。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連携あいさつ運動や合唱交流等の実施、年間を通じた縦割り活動等を通じ、思いやりの心や中学校への期待を感じさせる活動を行った。 ●学級の話し合い活動を充実する。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学校との交流、地域探検など体験を伴った活動を充実させることができた。 ●児童の興味関心を高める指導方法を改善する。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内での問題の共有、各機関との連携を図ったケース会議の実施など児童の問題への即時対応を推進することができた。 ●いじめ防止対策を強化し、未解消0を継続する。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校との連携、3 Daysによる社会体験をとおり将来への希望につなげる指導を実施できた。 ●地域との連携を深め、内容を充実する。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○個別支援計画の確実な作成や研修で効果的な指導方法の共有化を図り、全教職員の共通理解における指導を展開することができた。 ●交流学习を充実させ、理解を深める。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントの実施、学習時間の確保など計画的に読書を利用する機会を増加させ読書量の増加につながった。 ●読書の質にこだわった指導を展開する。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○電子機器の整備、IT支援員の活用、デジタル教科書の活用など全教職員を通じて積極的な指導を実践することができた。 ●情報リテラシー、モラルの指導を徹底する
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○人権感覚育成プログラムの計画的指導、人権教育週間におけるビデオ視聴を行い、人権感覚を育成することができた。 ●校内研修を充実させ、指導方法の工夫を図る。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	松原小学校の校風の確立	・歌声の響く学校 ・いつでも、どこでも元気よくあいさつ ・俳句	A	○今月の歌で始まる朝の会、音楽朝会など日常に歌声が響く中、情操教育を実践できた。校内音楽祭では、地域の方に歌声を披露し高い評価を得た。 ○毎日、児童会を中心にあいさつ運動を行い元気なあいさつを意識づけることができた。 ○全校俳句が定着し、情景を文章に表現する力がついてきた。 ●校内だけでなく、地域の中でも元気な挨拶ができる児童を目指す。
	保護者、地域に信頼される学校	・地域交流の充実 ・見守り隊、学校応援団との協力 ・情報発信	A	○はなぐり物語による読み聞かせ、地域の方を招いた「むかし遊びの会」など体験活動を充実させることができた。 ○ふれあい会食会による社会福祉協議会との連携、見守り隊との毎日の情報交換など協力して活動することができた。 ●さらに情報の共有を行い、安全安心な活動を展開する。
	学力・体力の向上	・学力・学習状況調査を踏まえた指導の充実 ・新体力テストの結果を活用 ・自己肯定感の充実	A	○ICT学習の充実、主体的・対話的で深い学びの学習の充実による学習を行い、児童の理解力が向上した。 ○体力テストの弱点を克服する体育授業の指導の工夫、業間運動を利用した体力向上の充実により、体力を向上させることができた。 ○一人一人のニーズを意識した学習を展開し自己肯定感を高める指導を行った。 ●学力調査の結果をより詳しく分析し、苦手項目の克服に向け、指導を工夫する。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・全体的に教職員が一丸となり児童の指導に当たることができ、保護者アンケートによる結果の平均が満足度96%を超える高い評価を得ることができた。
- ・全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査、草加市学力・学習状況調査とそれぞれきめ細やかに分析し、児童の一人一人の弱点を克服できるよう全学年で指導を行い、徐々に成果となって表れてきた。特に、市の調査では、昨年度からの向上が大きく見られた。
- ・「特別の教科道徳」「人権教育」「外国語活動」など校内研修を充実させ、教職員の指導力向上につなげることができた。
- ・学校評議員会では、毎回授業参観を実施し、児童の学習態度、学習規律の定着、教師の指導の多様性を見てもらい、高評価を得ることができた。
- ・PTAとも協力体制を昨年度同様強化し、学習環境、施設環境を整えることができた。

6 次年度の改善策

- ・栄中学校区での幼保小中を一貫した教育のさらなる推進を行い、学習面、生徒指導面でも協力を行い、児童の指導の充実を図る。
- ・学力調査の結果を踏まえ、児童一人一人の課題を克服するため、校内研修に取り組み、教師の指導力の向上、学習環境の充実に全力を注ぐ。
- ・特別な教科道徳、特別活動、生徒指導を強化し、地域の中でもしっかりとしたあいさつが進んでできる児童の育成を図る。
- ・さらに地域と連携を図り、体験活動、行事など児童の意欲の向上、自己肯定感の向上を目指した指導を深めていく。